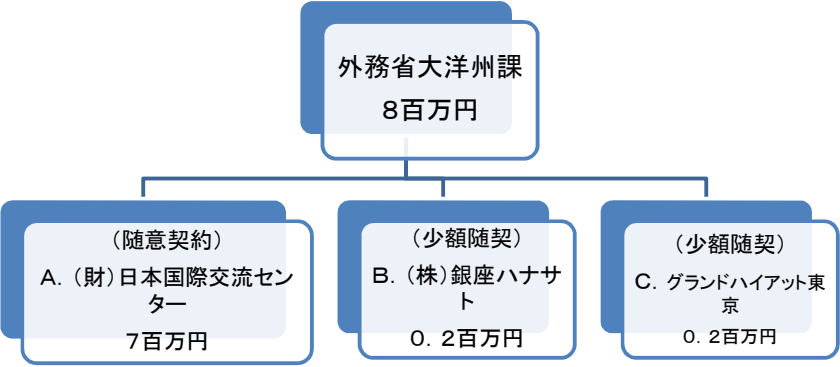


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日豪若手政治家交流プログラム	担当部局庁	アジア大洋州局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成3年度	担当課室	大洋州課	課長 飯田 慎一				
会計区分	一般会計	施策名	I-1 アジア大洋州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令第42条	関係する計画、通知等	平成3年開催の第11回日豪閣僚委員会において実施が合意されたもの。					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	豪州の若手政治家を日本に招待し、日豪の政治指導者間の人的交流促進を推進すると共に、対日理解を促進し、日豪間の相互理解を深め、日豪関係の安定的発展、強化を目指すもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	毎年5～7名程度の豪州若手政治家を1週間程度の日程で、日本に招待するプログラムで、訪問団の旅費及び滞在費を負担する。豪州からの訪問団は超党派の連邦議会議員及び州議会議員、議会交流評議会事務局からなり、訪日中は首都圏及び地方を訪問し、政界、財界、学界等幅広く有識者との意見交換を行い、日本への理解を深めるとともに、議員間の交流を実施するもの。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	9	9	9	0.4	0.3	
		補正予算	—	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	—	
		計	9	9	9	0.4	0.3	
	執行額		8	8	8	—	—	
執行率(%)		88%	88%	88%	—	—		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	招へいを通じた日本への理解の増進(招へい者)		成果実績	名	6	7	6	7
			達成度	%	100	100	100	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	招へい実施		活動実績 (当初見込み)	回	1	1	1 ()	(1)
単位当たりコスト	1(百万円/1名)		算出根拠	8百万円/6名				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	会議費	410	335	事業見直しによる減				
	計	410	335					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件の支出に際しては、契約期間満了後に業務委嘱先より送付される業務完了報告書、請求書また請求額を証明するに足る客観的資料(領収書等)を検査の上、契約内容の通り履行されたか、請求額に誤りがないか確認した後、支払いを行っている。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業見直しによる減		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(事業見直しによる減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
事業番号:3 事業名:日豪若手政治家交流プログラム とりまとめ結果:抜本的改善 コメント:21世紀パートナーシップ促進招へいに統合。その中で競争性を確保していきたい。			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	交通費	航空運賃、鉄道賃	4			
	人件費	エスコート、通訳、コーディネーター	2			
	滞在費	宿泊費、食事代	1			
	計		7	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本国際交流センター	招へい業務委託	7		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)銀座ハナサト	会議費(ワーキングディナー)	0.2		
2	グランドハイアット東京	会議費(ワーキングディナー)	0.2		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					